

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	呉市立昭和北小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校では、食に関する指導の全体計画、年間計画を作成し、学校全体で食育に取り組んでいる。食に関する課題としては、次のようなことが挙げられる。

- 「早寝・早起き・バランスのよい朝ごはん」の基本的生活習慣が身に付いていない児童がいる。
- 栄養バランスについて大切なことは分かっているが、行動化にまで至っていない児童がいる。
- 食に関する指導に関して、教職員の意識の差が見られる。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 朝食に赤・緑・黄の3つのグループの食品をそろえて食べている児童：75%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 保体部を中心とした組織的な取組

基本的生活習慣の確立のため、「健康オリンピック」として校内の健康（運動・保健・食育など）に関する取組のカード類を児童一人一人が1年間個人ファイルに綴じてまとめた。それぞれのカードを達成度別に点数化し、学年末の合計点数により、金・銀・銅のメダルシールを配付した。

「早寝・早起き・バランスのよい朝ごはん」の定着に関しては、家庭と連携して取り組む「にこにこチャレンジカード」を年3回(5月,9月,1月)行った。また、5月には、教職員による食育劇を、1月の全国学校給食週間には、給食委員会の児童による発表と劇を通して「早寝・早起き・バランスのよい朝ごはん」の大切さを児童に呼びかけた。

さらに、6月と10月には、朝食に関するお手伝いを促す「お手伝いカード」を実施し、お手伝いから食の大切さや大変さ、楽しさ、喜びなどを感じ、実践力を高めるとともに行動化につながるよう取り組んだ。

このように、保体部を中心として他の教職員を食育劇に巻き込んだり、児童が委員会活動等を通して主体的に活動したりすることは、児童の食に関する意識や教職員の食に関する指導に対する意識をさらに高めることにつながった。

早寝	21:30までに寝る。 <small>きょう けつ</small> (昨日の夜)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
早起き	()時()分までに <small>あさ</small> おきる。(今日の朝)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
朝ごはん	朝ごはんをバランス よくたべる。 <small>あさ</small> (今日の朝)	赤	緑	黄	赤	緑	黄	赤
		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆



【取組2】(テーマ) 家庭や地域と連携した取組

○「ふれあい料理教室(親子料理教室)」の実施

今年度は災害の影響により夏休みに実施できなかった「ふれあい料理教室」を冬休みに実施した。給食献立や、ひろしま給食100万食プロジェクトのメニューを取り入れ、主食・主菜・副菜のそろったバランスメニューを親子で調理し、会食した。また、冬ならではの正月のおせち料理などとの関連を図り、切り方や盛りつけのちょっとした工夫を取り入れ、日本の食文化についても伝えることができるよう工夫した。



○「給食を楽しむ会(給食試食会)」の実施

PTA主催で、1年生・転入生の保護者を対象に「給食を楽しむ会」を実施した。栄養教諭からは、学校給食や栄養バランス、朝食の大切さなどについて伝えた。また、実際の給食を食べてもらい味や量を確認したり、児童の給食時間の様子や給食指導について参観したりした。保護者からは、「子供のためにバランスに気を付けて作ろうと思います。」「実際に給食を食べてみて、量もしっかりあり、だしが効いてうす味でもおいしいと思いました。」「子供が楽しそうに食べていて、うれしい気持ちになりました。」など好意的な感想が多くあり、食について前向きにとらえてもらうきっかけとなった。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- 呉市の栄養教諭・学校栄養職員による「ひろしま給食」の調理研究を通して、広島県内の食材を使った特色ある呉市の統一献立になるよう検討した。また、「ひろしま給食100万食プロジェクト」に応募した呉市のレシピの中から最優秀賞の「ひろしまオールスター★担々丼」に合わせるメニューとしての副菜(汁物)を選び、1月の全国学校給食週間で呉市の統一献立として給食に取り入れた。
- 給食だよりや学級掲示用資料を作成・配付し、啓発した。また、給食放送や給食時間の教室訪問を通して、家庭で作って食べようと声かけをした。

5 取組に対する成果と課題

- 朝食に赤・緑・黄の食品をそろえて食べた児童 → 5月:78% , 1月:76%

【成果】

「にこにこチャレンジカード」の結果から、朝食に赤・緑・黄の食品をそろえて食べた児童の割合は、昨年度からあまり変化が見られないが、75%は高い数値なので、現状維持も成果であると捉えている。

【課題】

取組がマンネリ化しないように、変化を加えたり新しい取組を行ったりするなどの工夫が必要である。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- 課題をもとに、保体部を中心に検討し、取組の改善を図る。
- 教職員同士が学ぶことができる研修を計画的に実施したり、学級懇談会で話題にするなど保護者同士が学ぶことができる場をつくったりする。